

道の巻  
の巻  
の巻

志 本宮 銀次郎

志 本宮 銀次郎

3

**BankBank**

# あつちのあつち

第3巻

目白への道  
の巻



本宮ひろ志

# 登場人物紹介

もとみや  
本宮夫人  
(元漫画家・  
もりたじゅんさん)



いちかわ  
市川のあんちゃんこと  
もとみや  
本宮ひろ志氏

さくらば  
桜庭カメラマン



ほりうち  
堀内記者



## 前巻までのあらすじ

休筆宣言をして以来、ゴルフさんまいの生活で、漫画への情熱を失いかけていた、市川（いちかわ）のあんちゃんこと、本宮（もとみや）ひろ志（し）氏。

ところが、ふとしたことから、参議院全国区に立候補して、自分が議員になるまでを、実況生中継で漫画にしようと、思いたった。

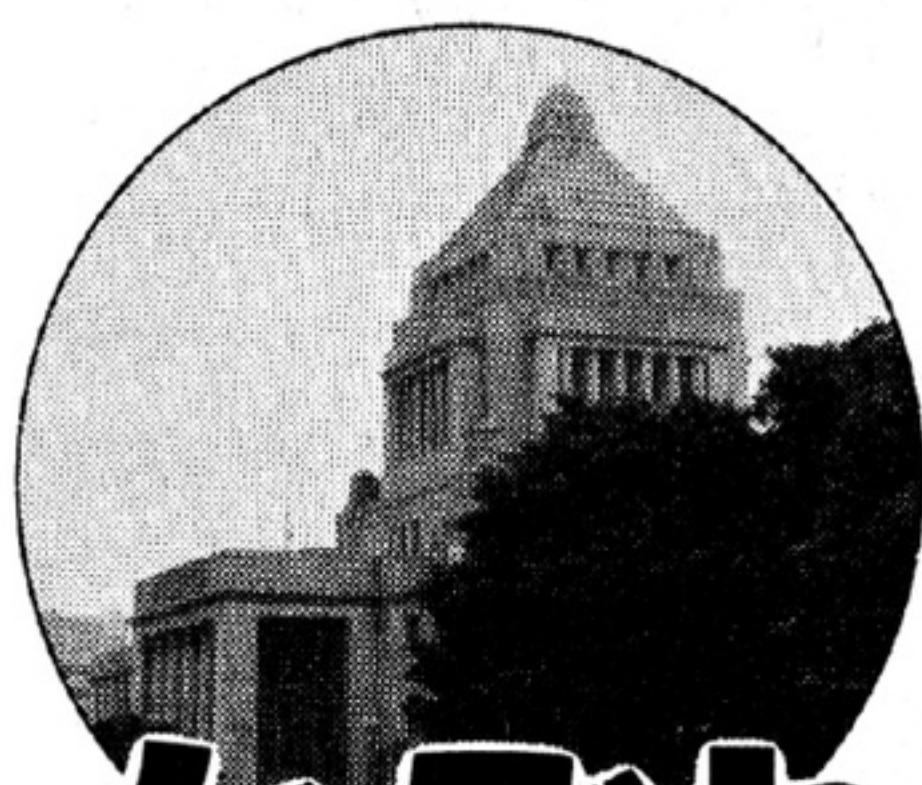
あちこちで話題を呼んだこの漫画の、週刊（しゅうかん）少年（しょうねん）ジャンプ新連載が決定した。新しい担当の堀内（ほりうち）記者も大ハッスル！

いちどはこの漫画に大反対、大ゲンカした奥（おく）さんの理解も得て、あんちゃんはいよいよ始動（しどう）した！！

しかし、社民連（しゃみんれん）の菅直人（かんなおと）氏や湯川憲比古（ゆかわのりひこ）氏と会ったあんちゃんは、「比例代表制」という難問に、早くもぶつかってしまおう。

そんな時、作家の井上ひさし先生の助言で、各党首へ出した手紙に、つぎつぎと反応が返ってきた！

各党首と会談、レポートを続けるあんちゃん、次の狙いは……!?



# やぶれかぶれ

もくじ

## 第 3 卷

### 目白への道の巻

大道無門.....	7
沸騰点と突破口！.....	26
軍団の城！.....	44
生の声！.....	62
側近.....	80
台風上陸！.....	100
ざっくばらん.....	118
政治家をやめる時.....	136
オフレコ.....	154
男の責任.....	172
年男.....	190

バスケットボール

# 大道無門



もとみや  
**本宮式まんがのできるまで**

**1**

まず先生が  
ストーリーアイデアを  
ねるわけですが……

はじまり  
はじまり……

くそっ  
たれ

全然  
でてこん  
わい

アイデアが  
きまると……

**2**

おーっしやア  
今週も  
やったる  
かい!

このカケ声とともに  
ワラばん紙にコマ割りをして  
ネーム(セリフ)を入れる  
わけですな

**3**



ネームが おわって  
いよいよ作業は  
画用紙へとうつるわけ  
ですが……

い……  
おっなか  
かさ

オラーッ  
はよ  
うっさん  
かい!!

**4**

ウーッヒヒ  
このひと時が  
たまらんわ

……という地獄の責め苦  
がまっているのレス  
(ヒエヒエッ)

ムチでぶたれる  
某アシスタント

**5**

ううう  
クソ腹  
立つうう

まっ白けの  
原稿みると  
やぶきたく  
なるわい

わな  
わな

**6**

……などとボヤキながら  
青鉛筆を 右手ににぎりしめ  
おもむろに人物とバックの  
アタリ(指定)を入れるわけです

我が本プロの場合チーフの前川さん(通称・下がき屋  
のオツサン)がそのアタリだけを頼りに人物の下がきを  
入れるわけですが……

アナタ  
めげないで  
がんばる  
のよ

前川 さんの奥さん

**7**

どうにか下がきの  
はいた原稿をそろえ  
ページ順に先生が  
顔のペン入れを  
すませます

**8**



クソッ  
クソッ  
クソッ  
タレ



さすがに この時だけは先生も  
真剣な目つきで仕事にかかりますな

ホンマかいな？  
アシスタント一同



11

おまっ  
とさん



顔のペン入れがおわって初めて先生の手から  
原稿がはなれ…いよいよアシスタントが  
作業にかかるわけです…

10



この時 うっかり  
話しかけると日本刀で  
追い回されるといいう伝説が  
今でも本宮プロに  
残っているのです…

12



…ではアシスタントの仕事は  
どういうものかといいますと…



人物のペン入れ

鈴木です  
女ほし



バック(背景)

末吉です  
女ほし

14

…とえらそうに  
先生みたいな事をいって  
仕上げにかかるわけです

カットバック  
その他

吉竜です  
女ほし



宮下さん  
女…イテ

我が プロには仕上げの三羽ガラス  
というのがおりました…

完

やったーっ  
これでクビにならずに  
すむぞ(この人ジャンプの  
編集の後藤さん)

さ〜って  
今週も  
やったろう  
かい

おお  
お

おーなし  
みんな  
のみに  
ぞい



本宮プロ  
アシスタント  
作・鈴木 画・松下

…というような三年ほど前の  
本宮プロダクション  
全盛時のいきおい  
今はなく……  
あいてる机は にげだした  
アシスタントの机

ひっそりと  
そのくせ 自分ひとりが  
めだとうという  
腹づもりで「やぶれかぶれ」を  
はじめた本宮プロダクション  
の仕事場……

(チーフ  
アシスタント  
末吉談)

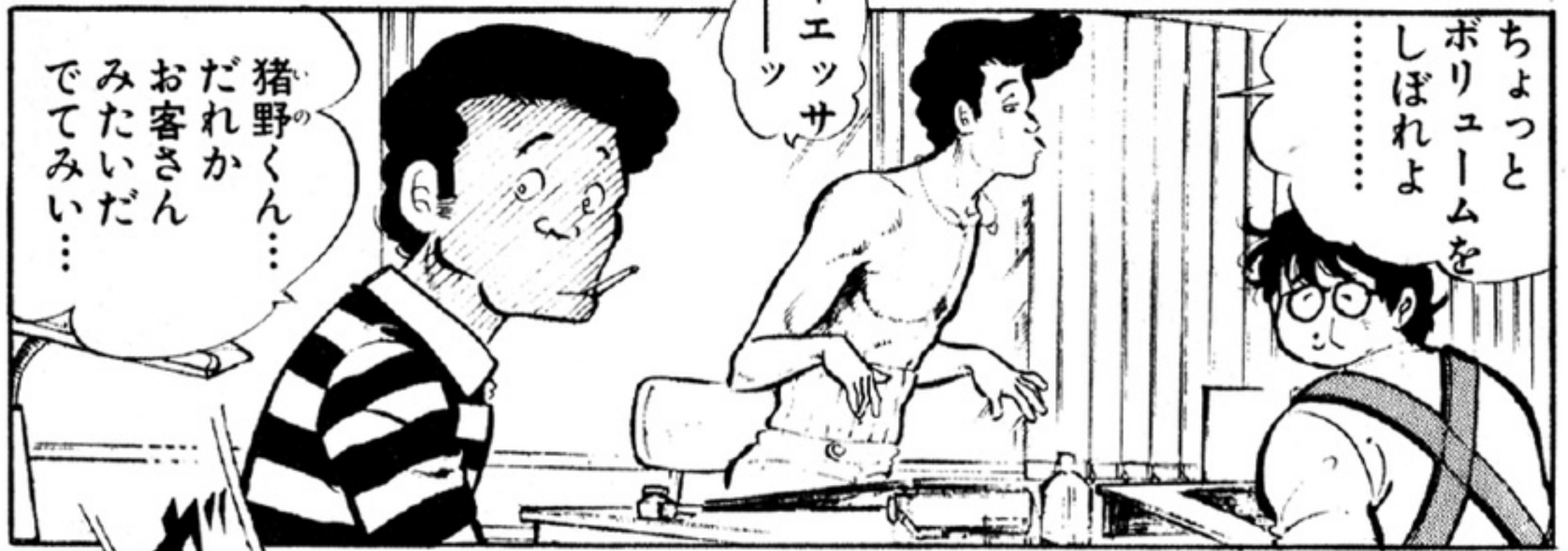


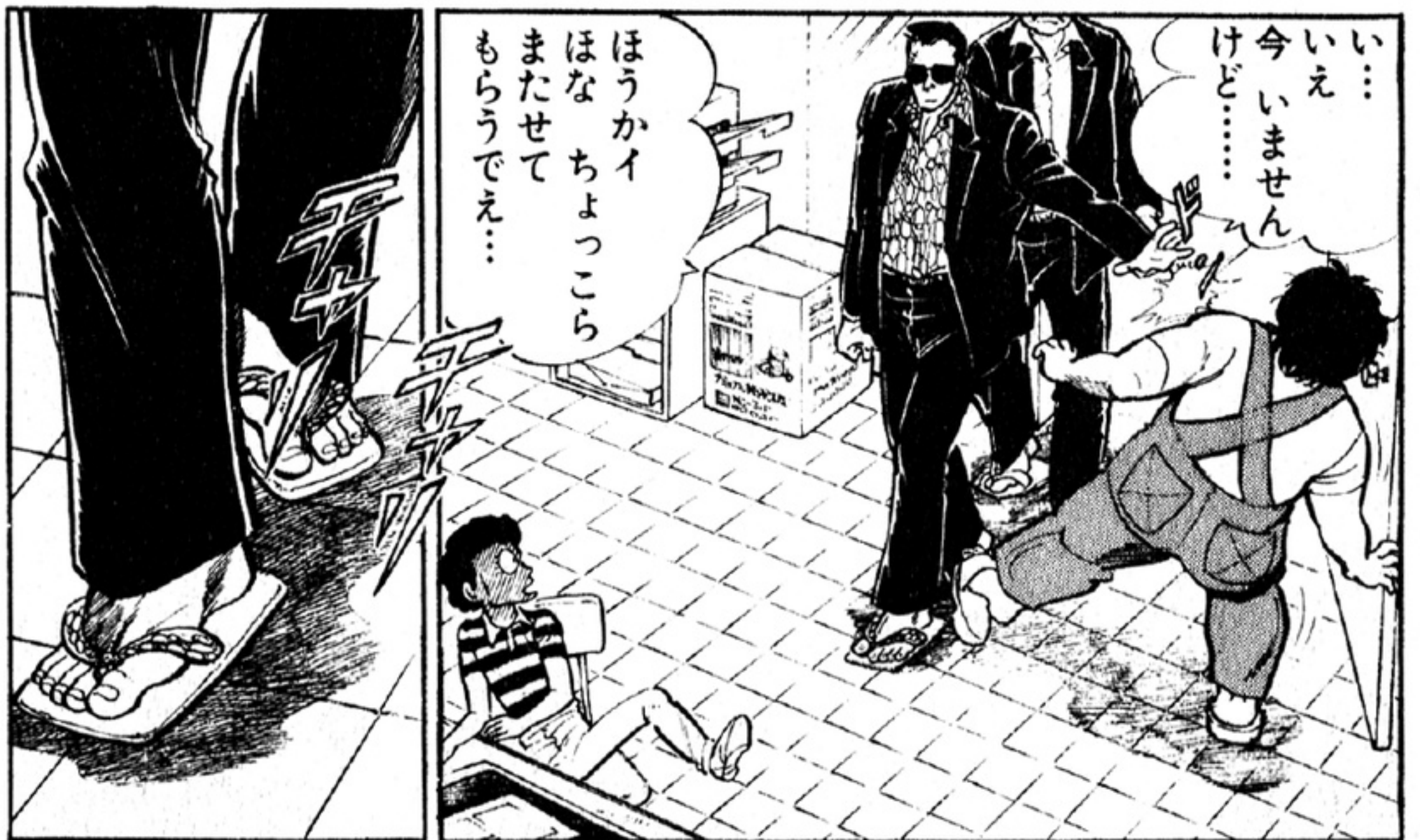
Goodbye your heart

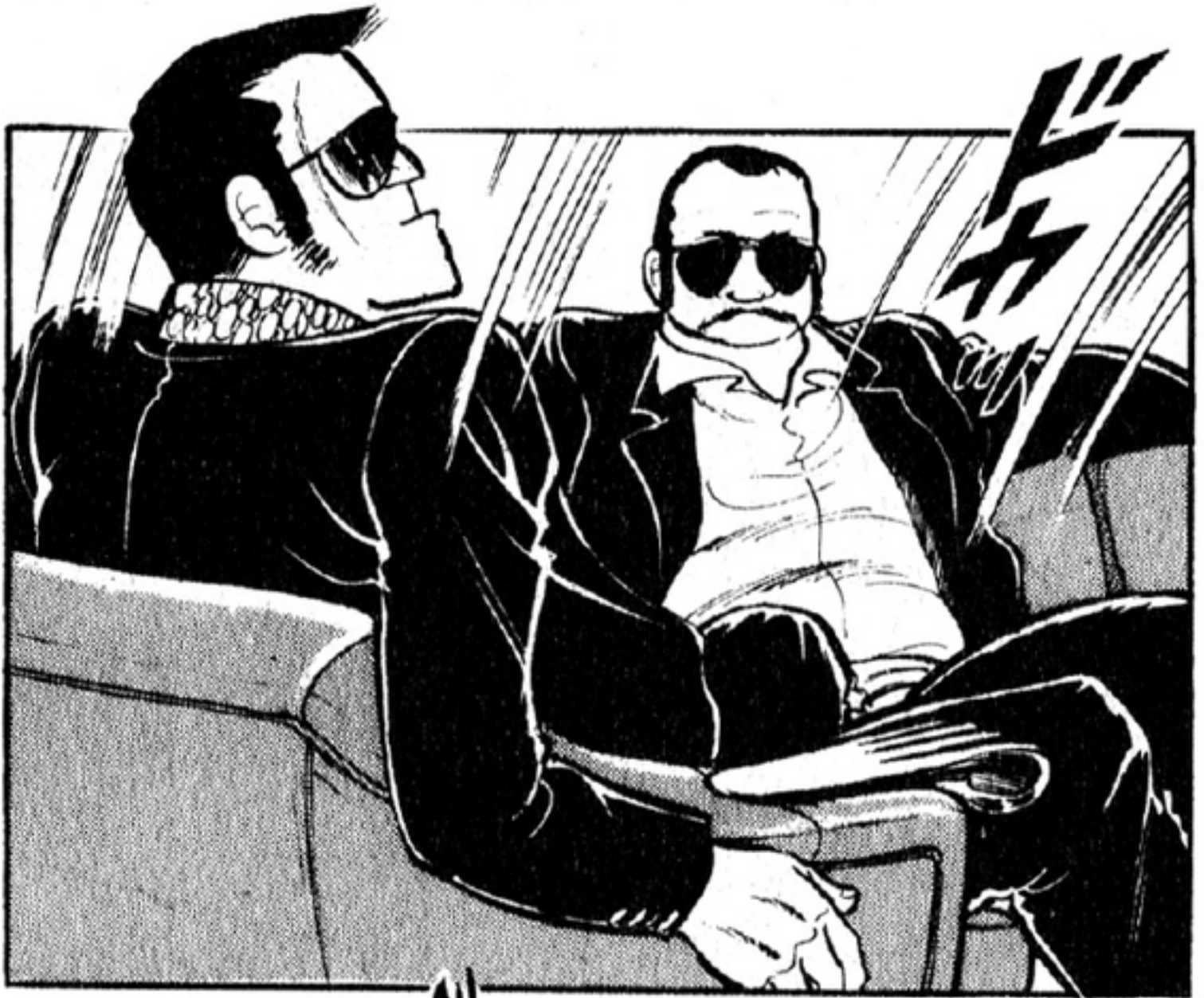


Everybody tells me









# 「民社党」のがい略

(昭和57年11月2日当時のがい略です)

## 中道の元祖……

中道勢力といえ、公明、民社、新自由クラブ、社会民主連合の四党を指すが、なかでも、民社党は昭和三十五年一月に結党されており、党の勢力では公明党に一步譲るが、党の歴史からみれば、中道の元祖といえる。総評を左派とすれば、右派の主力をなす同盟の支援を受けているが、党勢はいまひとつ伸び悩んでいる。自民党と社会党との対決が政治の基本となつて五五年体制（保守合同で自民党が、左右両派の統一で社会党がそれぞれ生まれたのが一九五五年）昭和三十年であるから）打破をめざしているが、最近、自民党の一部と中道勢力の結集で、政権を獲得しようとして佐々木良作委員長、春日一幸常任顧問などが活発な動きをみせ、新聞にもよく報道されている。

## 激動期に生まれた党

民社党、結成当時は民主社会党が正式名称だった。ところが、一九七〇年の大会から、民社党と名前を改めた。民社党が生まれたのは、一九五九年、戦後唯一の社会党首相、片山哲内閣の官房長官として、らつ腕をふるった西尾末広氏が脱党、翌六〇年一月に結成された。弱肉強食の資本主義と左の全体主義との対決を党是とし初代委員長には西尾氏を選ばれた。民社党が結成された年は、「六〇年安保」の年でもあった。自民党の岸信介首相が日米安保条約の改定を強行、反対する人びとのデモで国会が取りまかれ、そして、社会党の浅沼稲次郎委員長（当時）が右翼の少年のテロにあい、死亡するなど、左右両派が激突する政治情勢だった。このため、左右両派に偏しないとの民社党は、その年の総選挙では大打撃を受け、議席

を半分以上失ってしまった。以来、結党時の四十議席を回復したことは一度もない。

## 責任野党……

民社党の支持基盤の中心は、同盟と中小企業経営者である。高度経済成長によって生まれた中産階層である。社会党から分かれたため、社会党へのライバル意識は強い。同時に同じ中道勢力といつても、国会議員の数などでは、新興の公明党にも劣っているだけに、春日常任顧問などは、「いずれ公・民関係と呼ばれているものを、民・公関係と呼ばせたい」と老舗としての割り切れない胸の内を明らかにしている。

民社党のセールスポイントは、「責任野党」。何がなんでも反対の一部野党と違って、「野党であっても、わが国の政治に責任を持つ政党です」とPRしている。もつ

と露骨にいえば、何がなんでも反対の社会党や共産党と違い、政権に参加しても、今の世の中を急激に変えるような政党ではありませんといいことを宣伝したいのだ。このため、防衛問題などでは、社会、共産両党を敵視し、「責任野党」を強調するあまり、自民党よりも強硬リタカ派とマスコミから悪口をいわれる事もある。

## リーダーたちは……

現在、党首は佐々木委員長だが先に委員長を辞任、常任顧問の春日一幸氏が「陰の党首」と呼ばれている。また、書記長の塚本三郎氏は、春日氏と同じ愛知県選出の衆院議員でもあり春日氏に近い。佐々木氏は京大卒で戦後間もなく労働運動家から政治家になったインテリ派。これに対して、春日氏は、小説家をめざしたが途中で断念、楽器工場の経営者から政治家に転進、浪花節的な人生が信条。

〔党本部〕〒105 東京都港区虎の門1の19の12 第4森ビル内  
〔党員〕約六万七千 〔党費〕千円（月額） 〔国会議員〕衆院—32名 参院—11名  
〔党役員〕委員長・佐々木良作 副委員長・小平忠、中村正雄 書記長・塚本三郎



七月一日  
午前十一時三十分

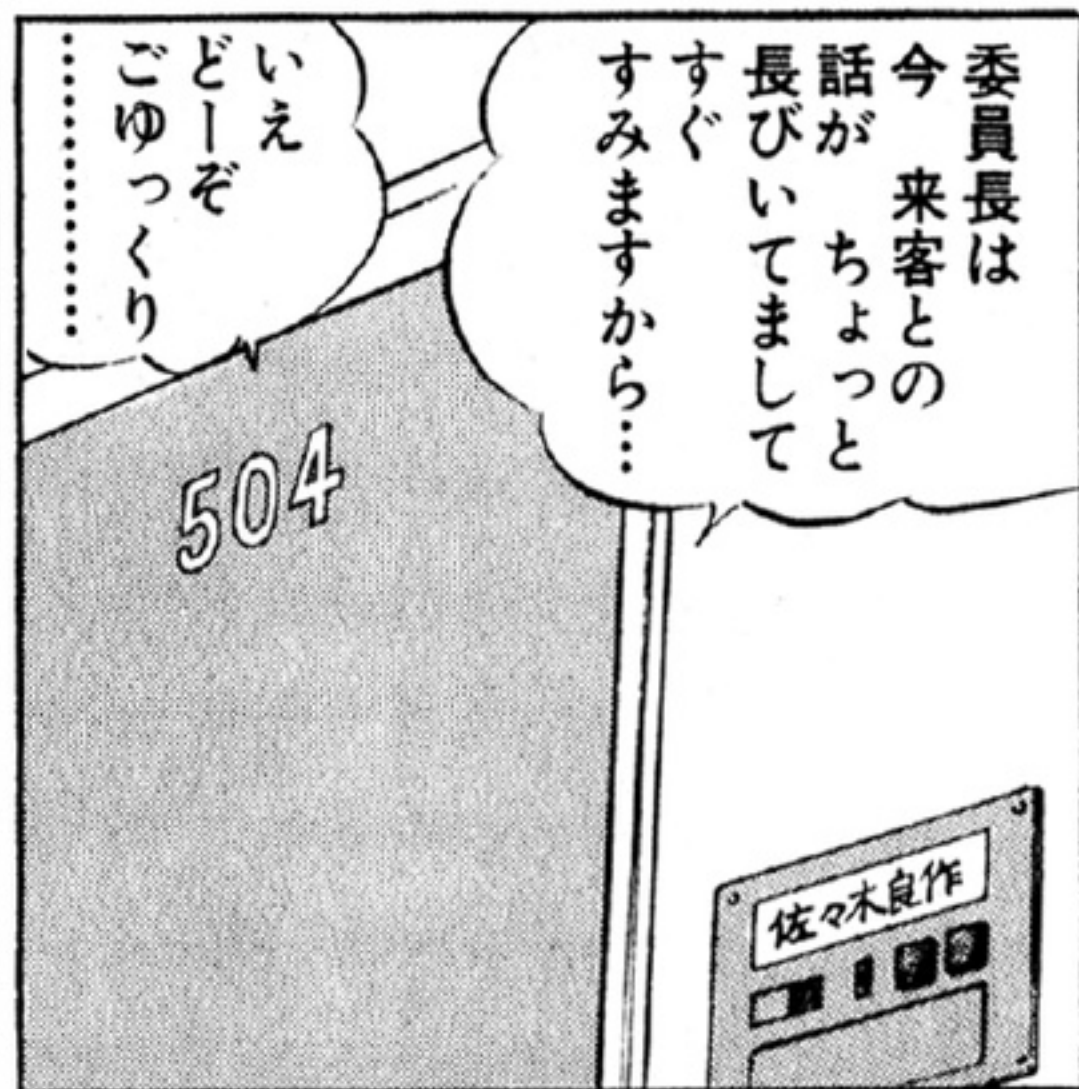
あつ どうも  
ごくろう  
さまです……

どーも  
おじやま  
します



あつ わざわざ  
買って  
くださったん  
ですか……

恐縮  
です……



委員長は  
今 来客との  
話が ちよつと  
長びいてまして  
すぐ  
すみませうから……

いえ  
どーぞ  
ごゆつくり  
……



その間  
といつては  
なんですが……  
ちよつとサイン  
をいただけ  
ますか……



それじゃあ  
まあ  
そういう事で  
失礼しますよ  
.....



どーも  
どーも  
ごくろうさま  
お先に  
.....

おまたせ  
しました

あっ



世間話  
だろ...

どーぞ  
おはいいり  
ください

民社党の  
トップ会議  
ですね.....



本宮さん...  
今の人  
しってる？

そのぐらい  
しってるよ  
民社党常任顧問の  
春日一幸さんに  
書記長の  
塚本三郎さんだろ







漫画というものを  
読んで育った  
漫画世代によって  
漫画社会がくる  
そういう状態に  
なることを  
認めざるを  
えないんだな

うちの孫なんかでも  
「ぼくシクシクだよ」  
とか  
「カラカラだよ」とか  
いう表現を  
使うからね

そのわからん所を  
つなげてくれると  
なれば  
こっちとしては  
ありがたい話です  
.....



ぼくたちも  
わかるわけじゃ  
ありません  
しかし 手がかりとして  
本にとじてある  
読者のアンケート  
ハガキが  
毎週 なん万通って  
返ってくるわけです

そのハガキによる  
アンケートによって  
子どもやヤングの心を  
少しでも  
しろうとしてはいます  
また  
それに近づこうと  
自分たちで努力はします



我われ まあ  
ヤングだとして  
逆に政治家の  
皆さんに  
いいたい事は...

委員長が  
ヤングを  
わかりにくいように  
ヤング世代は 政治や  
政治家が わかりにくい  
だから つまらないから  
みむきもしない これは  
同じ事だと思います...

そうだ  
政治は 孤立  
しておるんだ



しかし 政治家の方のいい分としてこれだけいっしょうけん命やっとするのに理解してくれない国民の方が悪い  
こういう認識がある!

さみしいしハラの立つ事もあるしかしほっとけるわけじゃないんだ  
政治が存在しなければどうもならんわけですからね



したがって孤立しておる政治社会をなんとかみなさんの側に近よらせたい!

それは我われも本当にいっしょうけん命だしその方法を模索しておる事は事実です

しかしだ  
その正反対の事もいえるでしょう



日本の社会は情報化社会ですよそれは けっこうなんだけれど我われの目からみると一億総評論家だわね……

政治は孤立しておるといふ実感が ある反面ちよつとちがう所では情報と評論のうずでゴウゴウとしておるんだ……



しかも  
その評論と  
いうのが  
政治は悪だ  
エゴだと頭から  
否定してかかる……

そんな  
悪い政治なら  
つぶしてしまえと  
いうんなら……  
その行動をとるんなら  
いいけれども  
悪口だけいって  
メシをくう  
ひきょうだと思っ  
わしは正直いってね……



……  
わかるかな  
……

……  
なんとなく  
わかりませ  
……

……  
だから  
あなた方が  
政治を評論  
する時にも  
……



基本的な姿勢として  
やっぱり政治は  
存在すべきである  
という事  
正しくあるべきである  
という事  
つまり 政治は  
必要なんだという  
肯定した姿勢……

……  
これを  
もってもらって  
我われの事を  
伝えていただけると  
ありがたいんだがね！



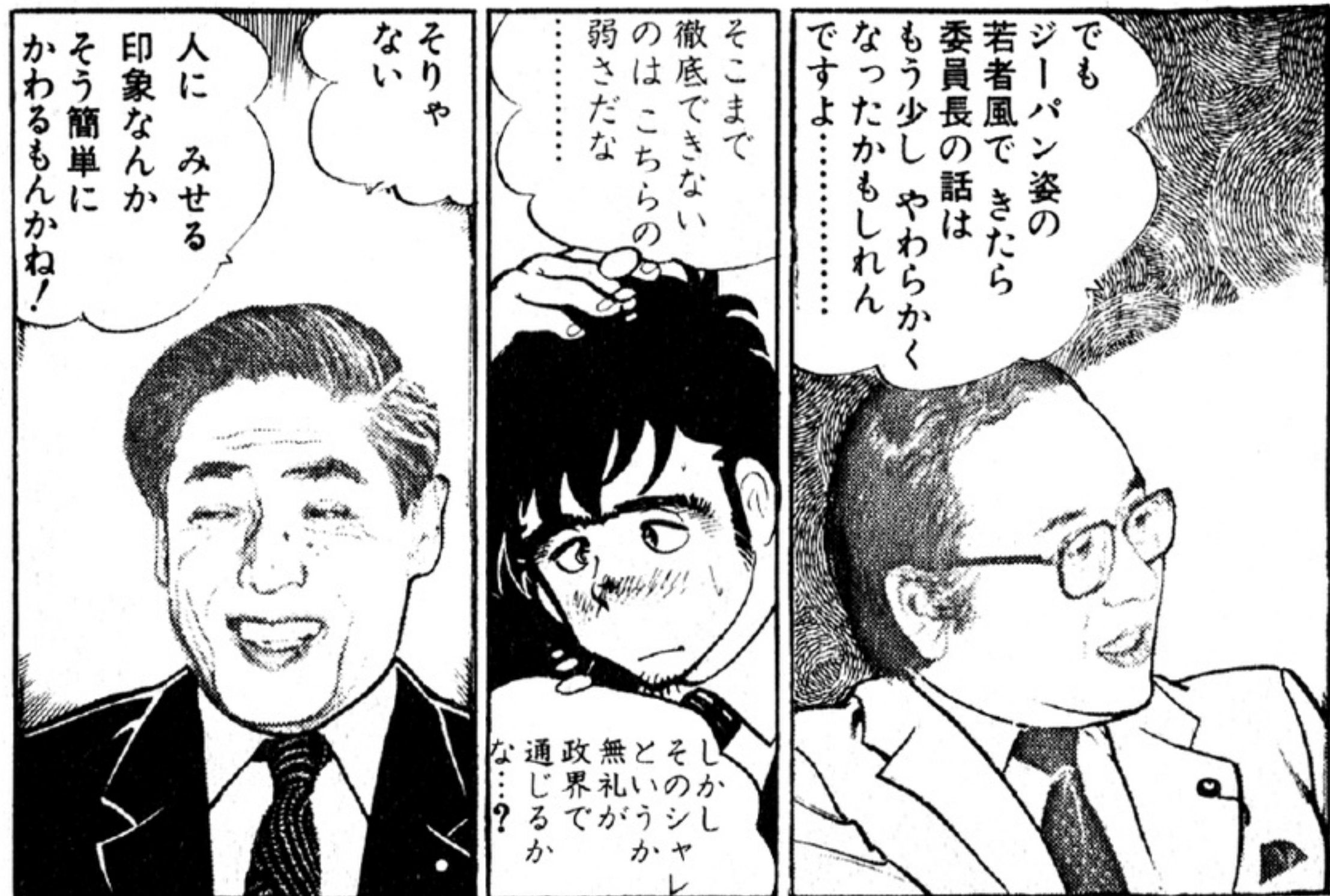
本宮<sup>もとみや</sup>さんは  
今日  
ジーパン姿か  
なんかで  
こられるんじや  
ないかと思っ  
たんですよ

ちよつと  
いいですか



はあ：  
しかし やっぱり  
礼儀として  
ネクタイしめ  
なけりやと  
思ったりして！

いや こっちの  
委員長の話は  
かたくて  
長いので  
いつも そうだ  
けれどね！



人に みせる  
印象なんか  
そう簡単に  
かわるもんかね！

そりや  
ない

そこまで  
徹底できない  
のはこちらの  
弱さだな  
……



しかし  
その  
としか  
無礼が  
政界で  
通じる  
な……？

でも  
ジーパン姿の  
若者風で  
きたら  
委員長の話は  
もう少し  
やわらかく  
なつたか  
もしれん  
ですよ……



いや ちよつと  
心配なのは  
カタくて  
本宮さんが  
欲求不満を  
おこして  
ないかと  
思つて……



いや それは  
ありませんよ  
!

委員長の  
いわれる通り  
まったく同じ矛盾は  
いつも感じてますし  
我われも  
うぬぼれれば  
そうなると思ひますし



委員長の忠告は  
心にきざんで  
おきます!



ところで  
民社党は

ひとつこと  
ふたこと  
いつていたかくと  
どういう事を  
めざしていらつ  
しやるんですか



民主的労働運動と称せられて  
おる同盟という組織があります  
ここが 一番大きな  
民社党の力でしょう  
この人たちには  
私たちがいつておる事は  
伝わつておる  
わけです……

その仲間とは  
別に  
私たちは国民常識で  
ふつうの人が一番わかつて  
ほしい……それが我われの  
めざすものであります  
国民常識の上での  
政治ですね……





ただ 常識と いうのは地味な もんですよ: 情報社会ですと ふつうの事を やつとつたら 目だたない

だから 我われの仲間の 同盟の人たちの中にも もう ちょっと 目だつた事を やつてくれ そうせんと 選挙運動が やりにくくて しようがないわと いわれたりするんだな



目だつ事を すれば 本来は 常識から はずれるし 筋から はずれるん ですよね

その矛盾が 一番つらいな 正直いって...



★やぶれかぶれ質問コーナー

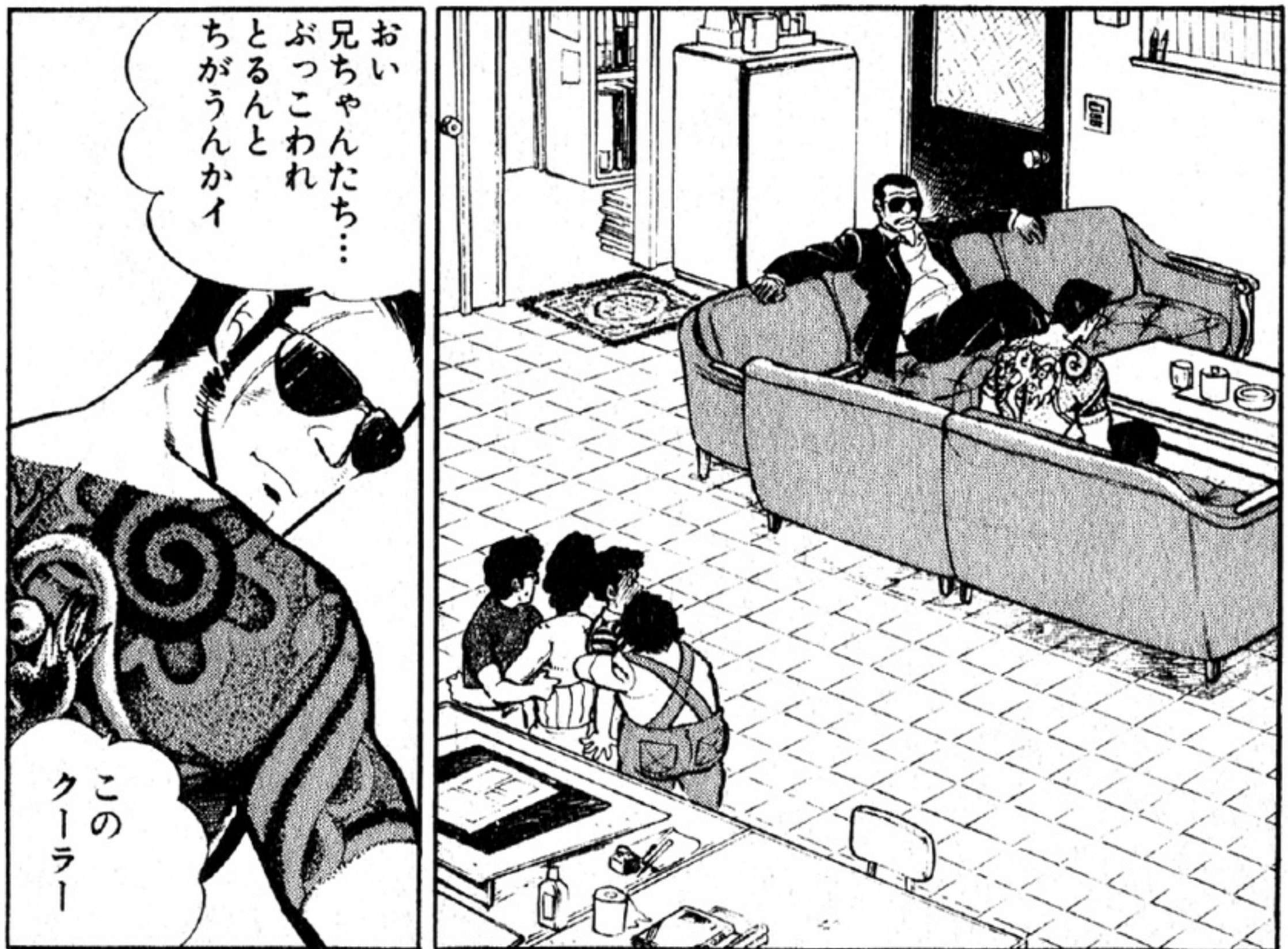
質問

■鈴木首相が「やめる」っていいだしてから新聞やテレビで「党四役に一任」とか「四役で話しあい」とか出てますが、「党四役」ってのは、そもそもなんですか？

山梨県・とく名希望N・Wへ15歳

回答

自民党の二階堂幹事長、田中竜夫総務会長、田中六助政調会長それに町村参院議員会長の四人をいい、今回の鈴木首相の後継者を選ぶのにこの四役が中心になって自民党内の意見を調整している。現在、党内は主流派と非主流派に分かれ、主流派の田中派、鈴木派、中曽根派は次の総裁に中曽根行管庁長官を、非主流派の福田派、河本派、中川グループは安倍通産相、河本経企庁長官、中川科学技術庁長官をそれぞれ立てて対抗している。自民党を、ふたつに分けてしまうような激しい対立をなんとか避けようと、首相経験者らの最高顧問会議を代表して福田元首相それに鈴木首相、二階堂幹事長が、「三人委員会」を作って意見調整している。しかし、最高の顔ぶれが集まった「三人委」も協議するにすぎず、そのつど四役会議で協議し、



新総裁選出をめぐる党内調整の最終決定権はあくまで党四役にあるとされている。

ところで党内には常に幹事長、総務会長、政調会長の三役があつてこれが党の最高幹部になつてゐる。時によつて「四役」「五役」と加わつていく。かつては三役に副総裁を加えて「党四役」といつていたこともあるが、鈴木内閣になつて副総裁をおいていないのと、参院を軽視しないために参院議員会長を加えて、「四役」といつてゐる。これに副総裁が加わると「五役」といつことになる。

幹事長。幹事長は衆・参両院の常任委員長、党役員、政調会の部会長、政務次官などの大小二百を超すポストを決める大変な権限を持つてゐる。総理、総裁になるには一度は踏まなければならぬポストといわれ、岸、池田、佐藤、田中、三木、福田、大平と最近のいずれの首相も幹事長を経験したが、鈴木首相だけが例外で幹事長はおろか外相、蔵相の重要閣僚の経験もない。ただ、総務会長を通算十期もやつており、「まとめ役」の名人ではある。ちなみに政調会は政策を作り、総務会が決定する。幹事長はその両方の組織の上のつた総合調整役。

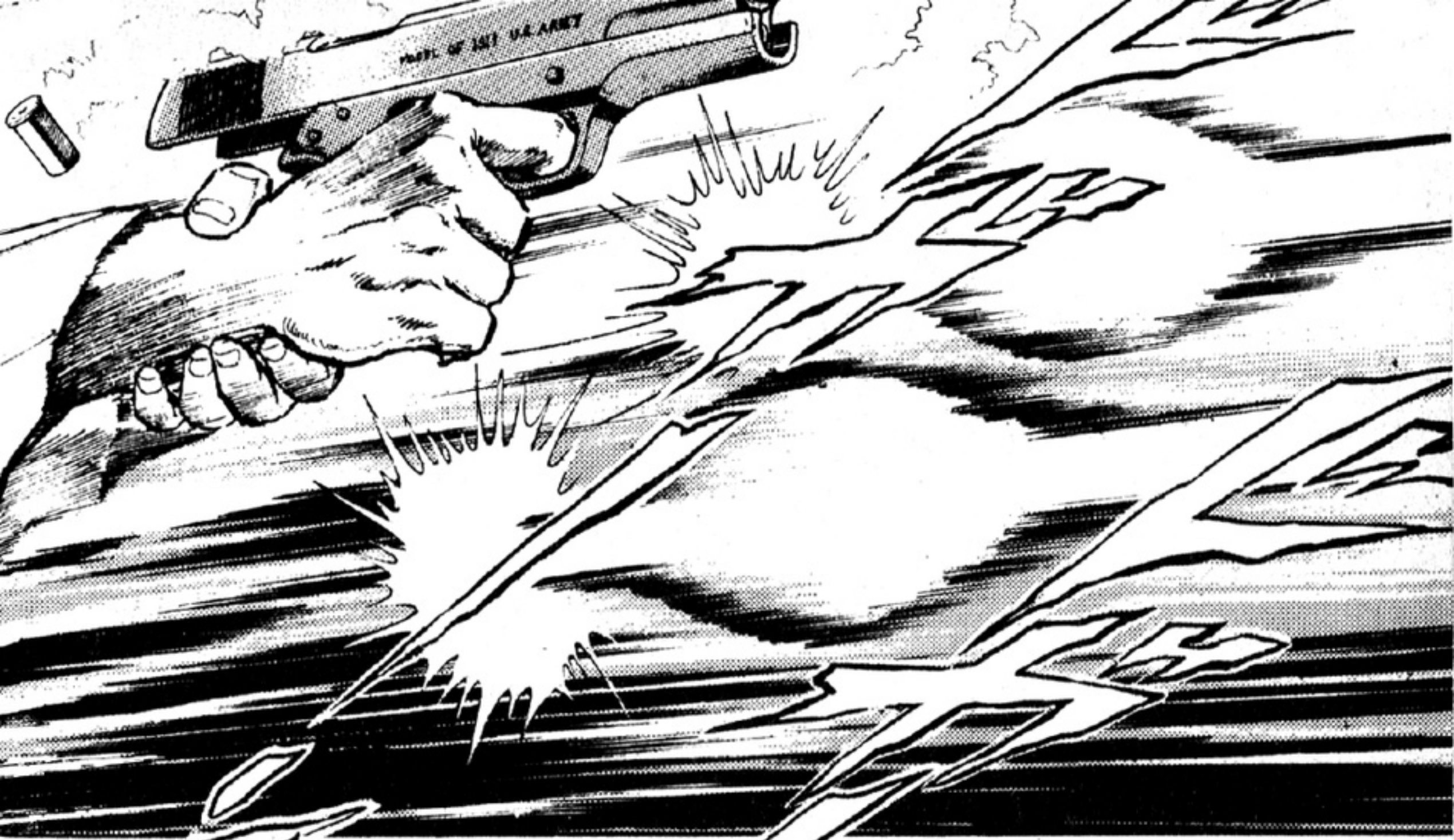
三役、四役の人選はその時の党内派閥の力関係で選ばれる。

■やぶれかぶれチーム

(昭和57年11月2日当時の質問・内容です)







**沸騰点と  
突破口！**

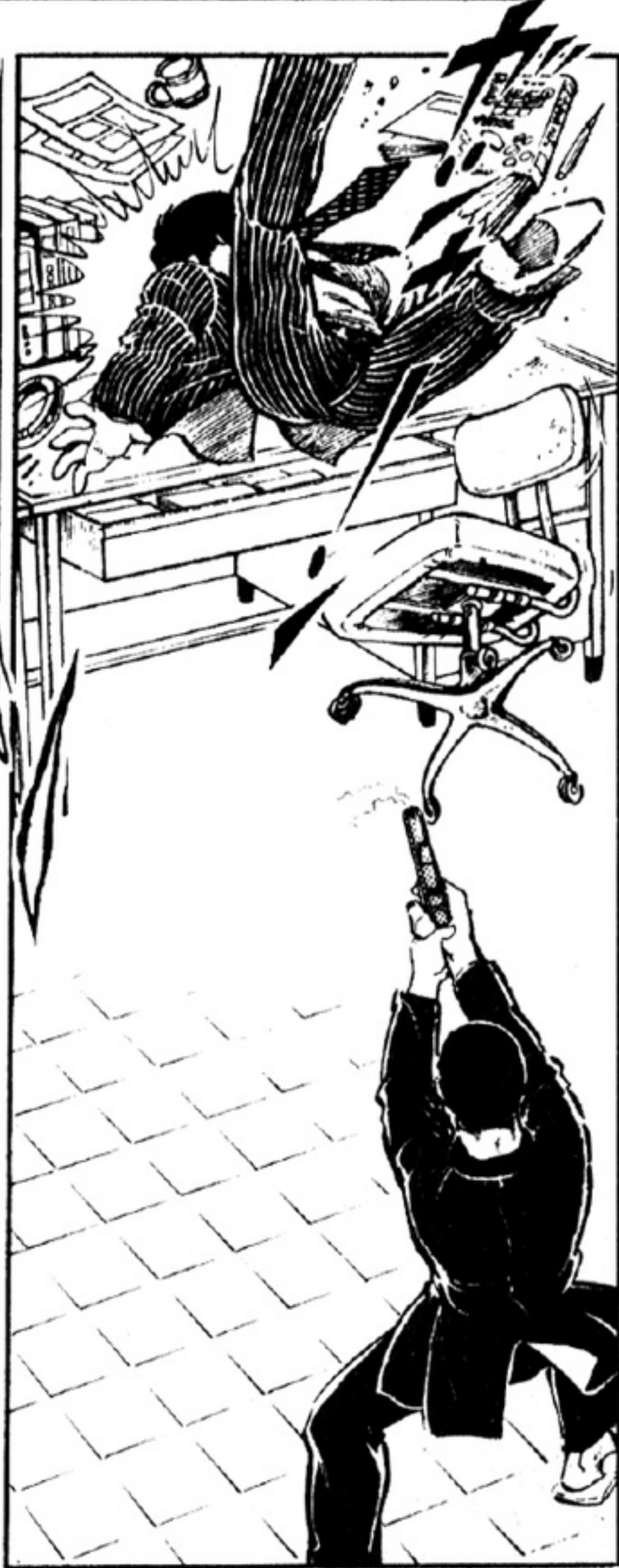


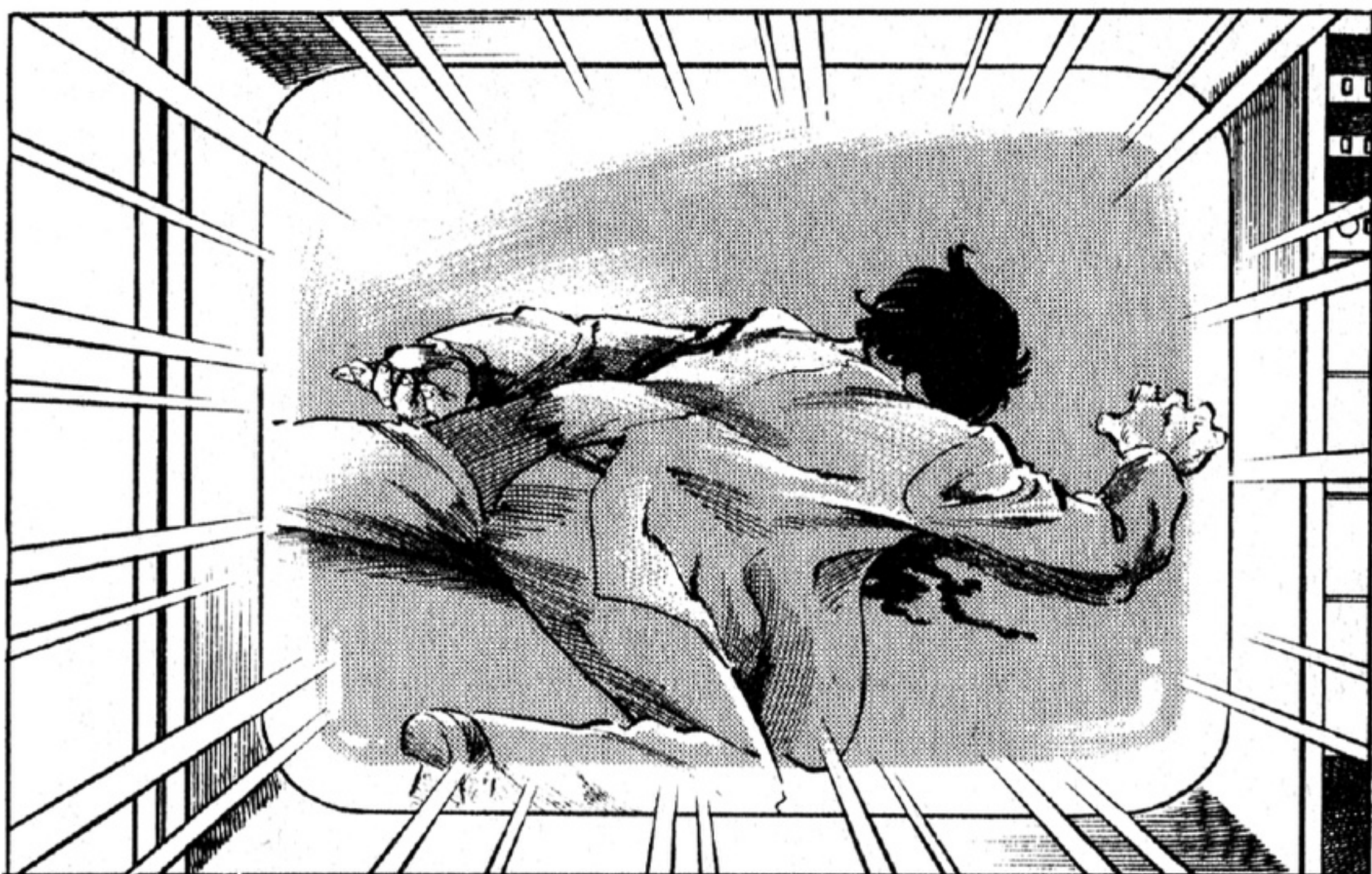
うおっ  
!!



死にさら  
せや!!

この  
でしやばり  
やろおーっ







そ…そそ…  
そうですが

どどどど  
どちらさま  
でしょうか…



わしら  
ごらんの通り  
つまらん  
まちがいを持った  
身分の人間です

もし それでも  
本宮<sup>もとみや</sup>さんが  
かまわんちゅうの  
やったら…



ははは  
ははは

どうか!  
そばに おいて  
使ってやって  
ください…



ええ  
——つ  
ヤクザ屋さんが  
きたのオ  
——つ

——つ  
なんでえ



人手が いるに  
ちがいないから  
手伝いにいけつて  
いわれてきた  
らしいんじや



なんでも  
自分たちの  
親分て人が  
昔「男一匹ガキ大将」  
の大ファン  
だったらしい  
んじや

それで  
今度 おれが  
選挙でるとか  
なんとか  
いうとるから……



どうしたの  
あんた  
それで……

まさか  
たのんだん  
じや……